

F-REIの最近の動き (令和8年1月)

福島国際研究教育機構

Fukushima Institute for Research, Education and Innovation (F-REI)

F-REIのWebサイトに掲載されている「F-REIの最近の動き（令和7年4月～）」から令和8年1月分を浪江町役場で抜粋しております。詳細はF-REIのWebサイトをご覧ください。

(<http://www.f-rei.go.jp/>)

令和8年1月14日（水）

福島イノベ構想・F-REIコミュニティフォーラムin福島大学を開催

1月14日、「福島イノベ構想・F-REIコミュニティフォーラムin福島大学」を福島大学で開催しました。

今回のフォーラムでは、F-REIからは村田文夫広域連携監らが登壇し、創造的復興への挑戦として進めている研究開発や産学官連携の取組を紹介しました。

また、福島イノベーション・コースト構想推進機構による福島イノベ構想の最新動向の説明に加え、福島大学や株式会社福島三技協から産学官連携の事例発表が行われ、多くの連携事例が共有されました。



令和8年1月19日（月）～20日（火） 第2回英国原子力公社（UKAEA）と 廃炉ロボット技術に関するワークショップを開催

1月19日～20日、英国原子力公社（United Kingdom Atomic Energy Authority, UKAEA）からRob Buckingham氏ら関係者が来日し、廃炉ロボット技術に関するワークショップを福島県南相馬市で開催しました。

本ワークショップでは、F-REIロボット分野から各ユニットの研究開発について紹介したほか、経済産業省資源エネルギー庁原子力発電所事故収束対応室や、東京電力ホールディングス株式会社、日本原子力研究開発機構から廃炉に係る現状・課題等がプレゼンテーションされました。これらを踏まえ、UKAEAとF-REI・日本国内の廃炉に関わる企業・有識者が多岐にわたる意見交換を行いました。



令和8年1月21日（水） F-REI研究者と企業の交流会を開催

1月21日、F-REI研究者と県内で活躍する企業との交流会を開催しました。

本交流会は、F-REIと地元企業等の具体的な連携促進を図ることを目的として、F-REIの研究者と福島県内で活躍する企業との双方向のコミュニケーションの場を開くために、福島県企画調整部福島イノベーション・コースト構想推進課、公益財団法人福島イノベーション・コースト構想推進機構、F-REIの三者共催により実施しました。

第1回目となる今回は、福島市のコラッセふくしまで開催し、燃料電池システム研究ユニットの飯山ユニットリーダーと柳澤ユニットサブリーダーが、現在実施している研究についての概要を説明しました。その後、ワークショップ形式で、県内でドローン関係の事業に取り組む企業等と意見交換を行い、活発な議論が行われました。



令和8年1月28日（水） エフともカフェ（富岡町）を開催

1月28日、「エフともカフェ」を富岡町で開催しました。今回は、富岡町で障害者当事者対話サロン「きゃべつの葉っぱ」を主宰する辺見珠美さんと、訪問介護・看護サービスを提供する「株式会社はま福」代表取締役の福島芳子さんをゲストにお迎えし、原発事故直後から現在までの歩みを振り返りながら、「原発事故被災地におけるコミュニティづくり」をテーマに、参加者の皆さまとともに語り合いました。

当日は、専門家として福島に入り、住民として福島で生きることを選んだお二人の話に、参加者が熱心に耳を傾け、これからの浜通りのコミュニティづくりについて、たくさんの気づきや学びが生まれる対話の時間となりました。





F-REI

福島国際研究教育機構

